Energia

報 道 資 料

平成18年11月7日
中国電力株式会社

島根原子力発電所1号機

復水貯蔵タンクにおける腐食の原因と対策について

島根原子力発電所1号機（沸騰水型，定格電気出力46万キロワット）は，第26回定期検査中（平成18年9月9日から開始）のところ，復水貯蔵タンク※1の点検において，腐食によりタンク水位計配管取付け部の一部に技術基準※2における必要な厚さ（9.9ミリ）を下回っている部位（最小厚さ約8ミリ）があることを10月13日に確認しました。

（10月13日お知らせ済）

その後，原因の調査及び対策の検討を進めてまいりましたが，この度その結果を取りまとめましたのでお知らせします。

1. 原因

当該箇所は保温材で覆われていたことから，長期間点検及び再塗装を実施していなかったため経年的に塗装が劣化し，保温材への雨水の浸入によって腐食が進行したものと推定しました。

なお，類似箇所について点検した結果，当該箇所以外に問題となる腐食はないことを確認しました。

2. 対策

当該箇所については，肉盛溶接※3による補修を実施します。

なお，再発防止対策として保温材に覆われている箇所等も外観点検に含めることとするよう点検要領書を見直すなど，保守管理活動全般について改善していくこととします。

※1：復水貯蔵タンク：　発電所の運転に必要な水を貯蔵するタンク。この水は非常用炉心冷却系の水源としても使用する。

※2：技術基準：　電気事業法に基づいた，電気工作物の設計製造の基準および維持運用されるべき水準を定めた基準。

※3：肉盛溶接：　金属表面に溶接金属を溶着させること。

以上

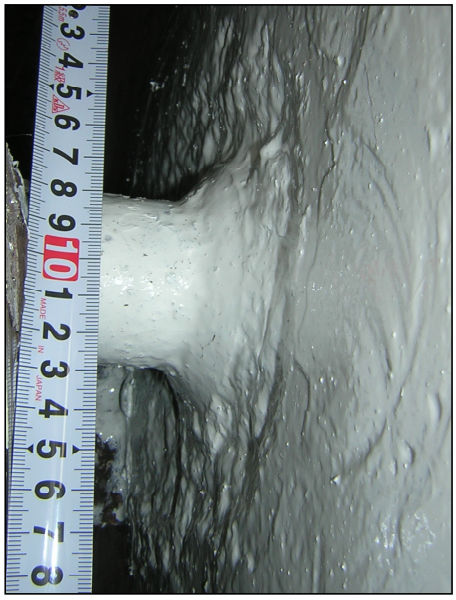
【添付】

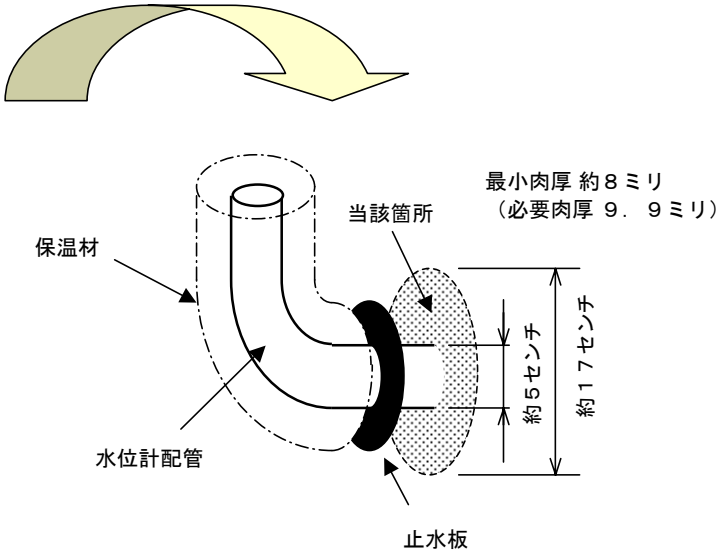
島根原子力発電所1号機　復水貯蔵タンクの腐食状況[PDF:490KB]

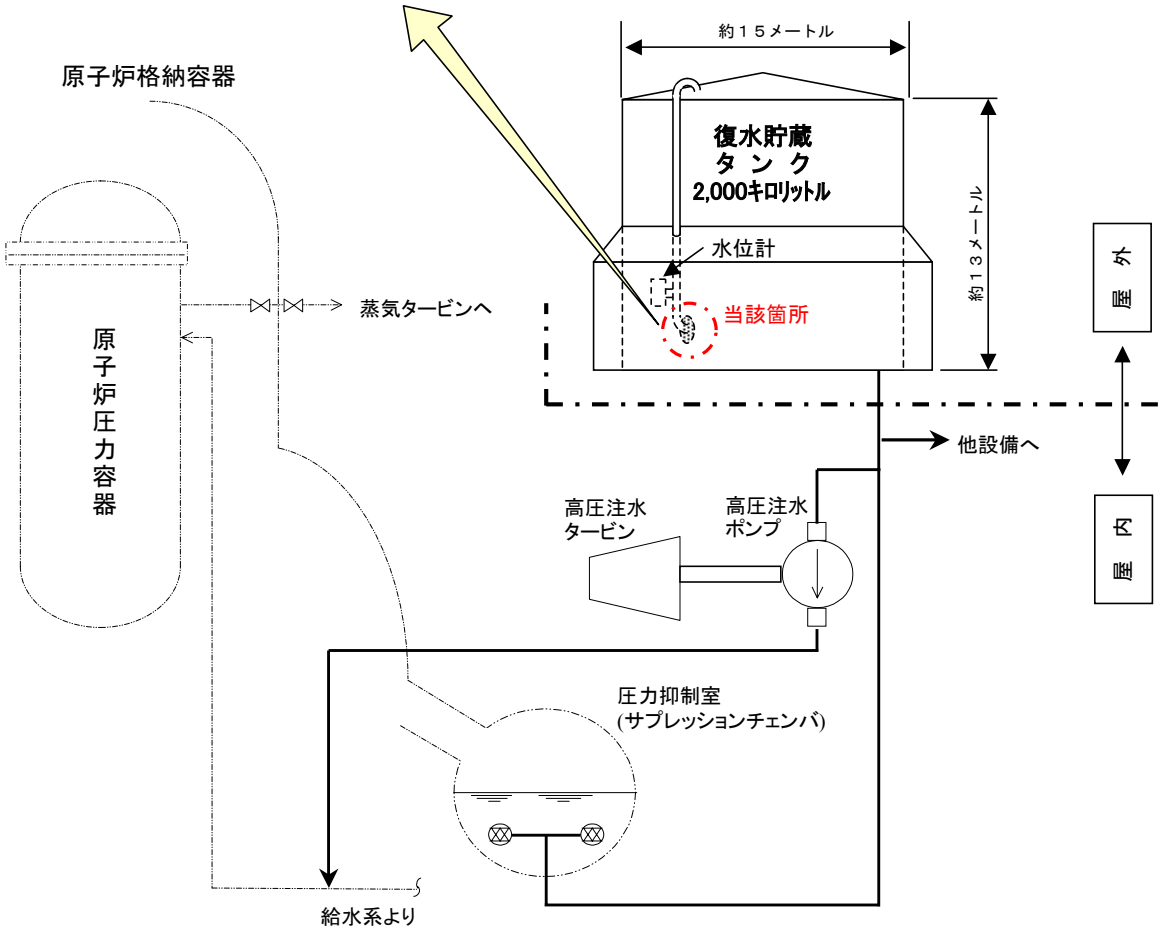
添　付

島根原子力発電所1号機　復水貯蔵タンクの腐食状況

当該部写真







（高圧注水系系統図）